

取扱説明書

施薬ホッパーオートセンサ HAS-103

はじめに

「施薬ホッパーオートセンサ HAS-103」をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品は、苗箱施薬ホッパーの薬剤供給用センサです。適用機種をご確認のうえ、正しくお使いください。

☆ 『安全に作業をするために』の注意項目については、苗箱施薬ホッパーの取扱説明書を必ずお読みください。

適用型式: 苗箱施薬ホッパー SDP-33S SDP-103S

組付け方

組付けの際には本機の入るスペース(55 mm以上)を確認してから行ってください。また、本機は施薬ホッパーの取り付け方により組付け位置が異なります。状況に応じて使い分けてください。

● 施薬ホッパーを直接取り付ける場合

播種機型式(参考): THK-5017K, THK-6015, THK-6017K, THK-7017K, H-1100,

HK-207KA, KB(後灌水仕様時), HK-307K(後灌水仕様時), HK-507K, HS-427K

1. 写真1に従い、本機が苗箱進行方向に対して右側になるようセットしてください。また、この時右側の箱ガイドを取り外してください。
2. 播種機の能力が1000枚/時以下の時は本機を施薬ホッパーに密着させ、1200枚/時の時は本機と施薬ホッパーとの間に10~15mmのスペースを設けてください。

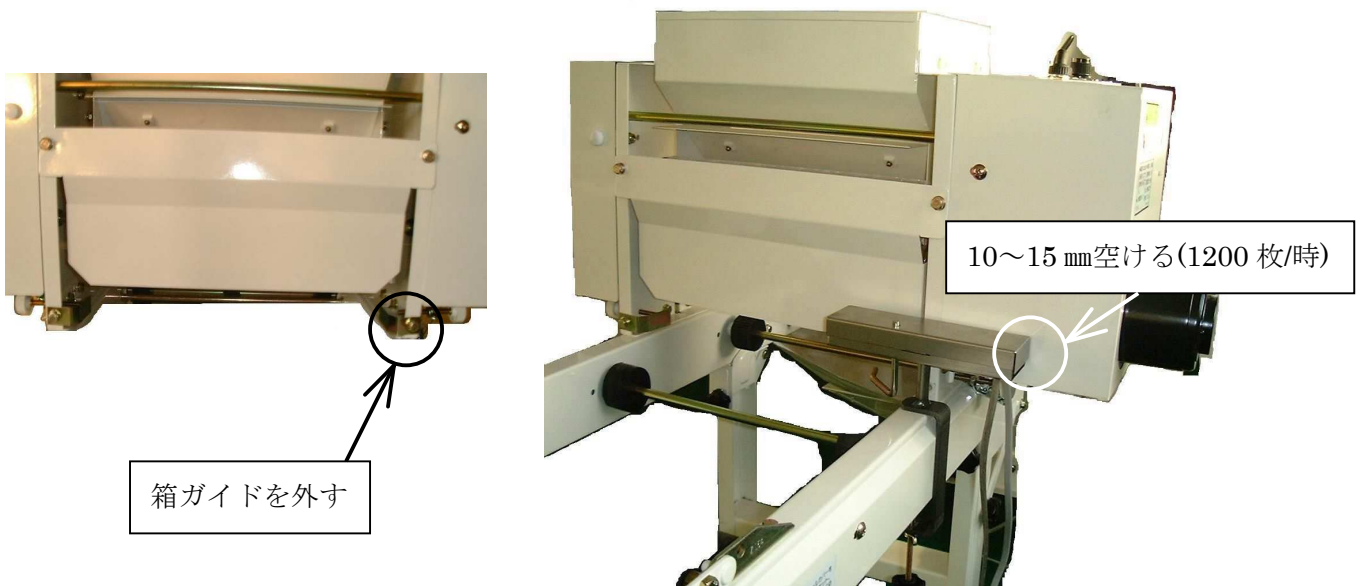


写真1. 組付け方法

● ホッパースタンド(SHS-7)を使って取り付ける場合

播種機型式(参考):THK-2007KB, THK-3017K

1. 写真2を参考にホッパースタンド落下口から50~100mm離してセットしてください。

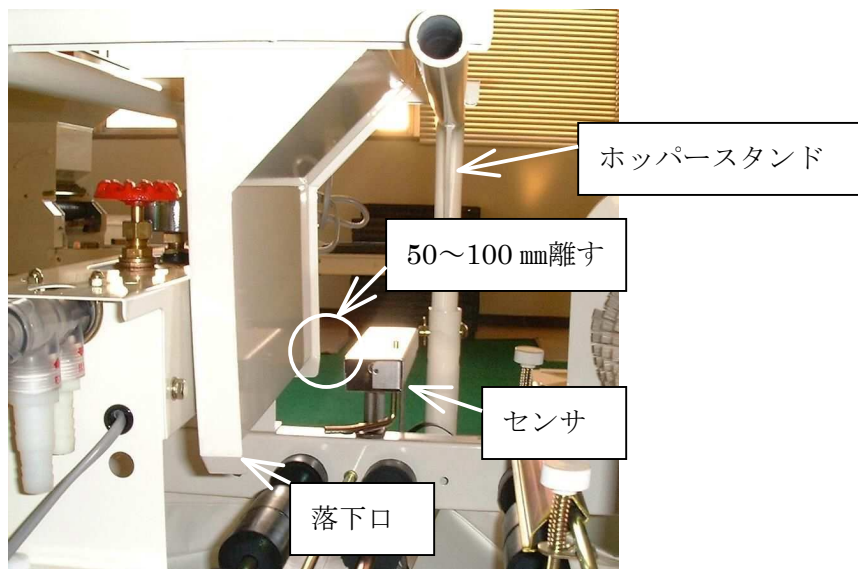


写真2. ホッパースタンド使用時

接続方法

本機の接続は、写真3に従い、メスのコードを施肥ホッパー電源に、オスのコードを播種機電源に接続してください。

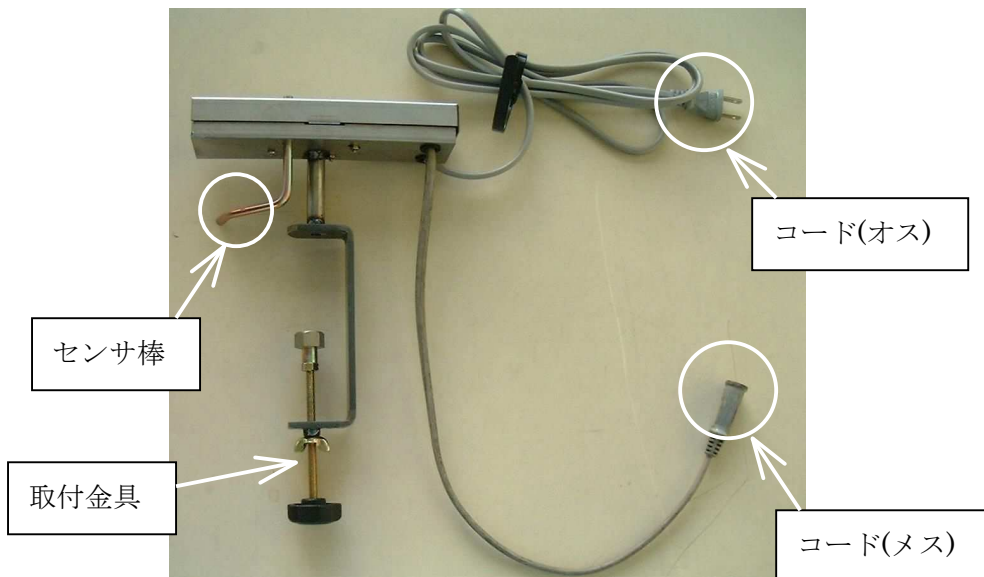


写真3. 接続方法